

技術・家庭科（家庭分野）シラバス＜第1学年＞

八條中学校技術・家庭科

◆技術・家庭科の目標（3年間で身に付けること・今年度身に付けること）◆

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

◆技術・家庭科（家庭分野）の見方・考え方◆

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること

◆年間計画◆

- 1 学期：衣食住の生活（安全な住まい安心な暮らし）
- 2 学期：衣食住の生活（中学生の食生活と栄養）（食品の選択と調理）
- 3 学期：衣食住の生活（食生活の課題とこれからの食生活）

◆主な評価方法◆

評価の観点	方法	評価内容等
知識・技能	定期テスト、ワーク、レポート	学習内容を理解できている
	実技や作品の評価	作品や技能の正確性や丁寧さ、技能の高さ
思考・判断・表現	計画・実践レポート、ワーク・プリントの内容	課題について思考・判断し、製作や改善策などをまとめられている
	作品	課題について考え、表現できている
主体的に学習に取り組む態度	ワーク・プリント・自己評価 発表・発言等	学習内容を正しく記述し、課題に意欲的に取り組んでいる
	作品や宿題等	期日までに作成し、提出している

◆その他◆

- 持ち物 毎時間：教科書、ワーク、その他指示があったもの
調理実習：エプロン、三角巾、ふきん、マスク、爪を切る
（食材は全て学校で用意します）
- けがや事故に気を付け、安全を第一に考えて行動しましょう。
- 学んだことを、日常生活の中で実践しましょう。

技術・家庭科（家庭分野）シラバス〈第2学年〉

八條中学校技術・家庭科

◆技術・家庭科の目標（3年間で身に付けること・今年度身に付けること）◆

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

◆技術・家庭科（家庭分野）の見方・考え方◆

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること

◆年間計画◆

- 1 学期：衣食住の生活（衣服の手入れ）（安全な住まい安心な暮らし）
- 2 学期：家族・家庭生活（幼児の生活と家族）
- 3 学期：家族・家庭生活（幼児とのかかわり）

◆主な評価方法◆

評価の観点	方法	評価内容等
知識・技能	定期テスト、ワーク、レポート	学習内容を理解できている
	実技や作品の評価	作品や技能の正確性や丁寧さ、技能の高さ
思考・判断・表現	計画・実践レポート、ワーク・プリントの内容	課題について思考・判断し、製作や改善策などをまとめられている
	作品	課題について考え、表現できている
主体的に学習に取り組む態度	ワーク・プリント・自己評価	学習内容を正しく記述し、課題に意欲的に取り組んでいる
	発表・発言等 作品や宿題等	期日までに作成し、提出している

◆その他◆

- 持ち物 毎時間：教科書、ワーク、その他指示があったもの
調理実習：エプロン、三角巾、ふきん、マスク、爪を切る
（食材は全て学校で用意します）
- けがや事故に気を付け、安全を第一に考えて行動しましょう。
- 学んだことを、日常生活の中で実践しましょう。

技術・家庭科（家庭分野）シラバス〈第3学年〉

八條中学校技術・家庭科

◆技術・家庭科の目標（3年間で身に付けること・今年度身に付けること）◆

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

◆技術・家庭科（家庭分野）の見方・考え方◆

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること

◆年間計画◆

- 1 学期：衣食住の生活（安全な住まい安心な暮らし）（畳のへりを使って小物入れ）
- 2 学期：消費生活・環境（消費生活と社会・消費者の権利と責任）
- 3 学期：消費生活・環境（持続可能な社会）

◆主な評価方法◆

評価の観点	方法	評価内容等
知識・技能	定期テスト、ワーク、レポート	学習内容を理解できている
	実技や作品の評価	作品や技能の正確性や丁寧さ、技能の高さ
思考・判断・表現	計画・実践レポート、ワーク・プリントの内容	課題について思考・判断し、製作や改善策などをまとめられている
	作品	課題について考え、表現できている
主体的に学習に取り組む態度	ワーク・プリント・自己評価 発表・発言等	学習内容を正しく記述し、課題に意欲的に取り組んでいる
	作品や宿題等	期日までに作成し、提出している

◆その他◆

- 持ち物 毎時間：教科書、ワーク、その他指示があったもの
調理実習：エプロン、三角巾、ふきん、マスク、爪を切る
（食材は全て学校で用意します）
- けがや事故に気を付け、安全を第一に考えて行動しましょう。
- 学んだことを、日常生活の中で実践しましょう。